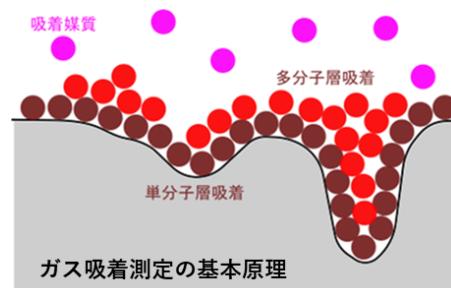


分析項目	比表面積 (BET)	水分量測定	Li滴定測定	ICP測定 (ICP-MS) (ICP-AES)	真密度 ※協力会社対応	粒度分布 ※粒度解析ソフト
装置	Anton Paar製 Autosorb-iQ	京都電子工業製 (MKC-710M)	京都電子工業製 電位差自動滴定 装置 (AT- 710B)	SPECTRO製 SPECTRO BLUE (FMX26)	マイクロメリ ティックス社製 乾式自動密度計 アキュピック II	日立ハイテク製 SEM(走査電子顯 微鏡) SU3500
分析雰囲気	・窒素ガス ・クリプトンガス	・窒素ガス ・空気	・大気中	・大気中	・ヘリウムガス	・大気中
サンプル形状	・粉体 ・固体	・液体 ・粉体 ・固体	・粉体	・液体 ・粉体 ・固体	・液体 ・粉体 ・固体	・粉体 ・固体
詳細	・最小表面積： 0.01m <sup>2</sup> /g ・最小細孔径： 0.35nm～	・加熱温度囲： 50～1000°C	・温度： 0°C～100°C ・pH：-20.000 ～20.000pH	・定性/定量 ・ppb～ppt レベル	・定容積膨張法	・分解能： 3.0nm(高真空)
設備写真						

ドライルーム分取可能

# 全自動ガス吸着測定装置（比表面積）

■窒素やクリプトンガスを試料に吸着させることで、比表面積・細孔径分布等が測定可能な物理吸着および化学吸着分析装置です。



型式：autosorp iQ

分析検体数 : 3検体同時測定可能

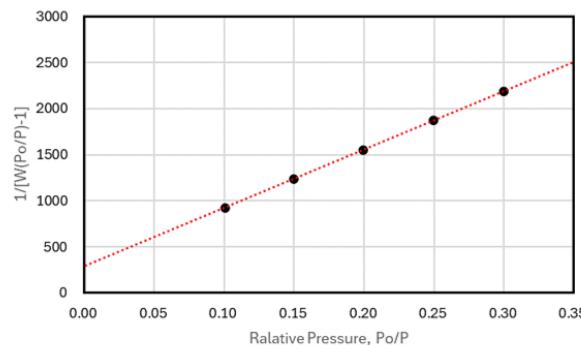
吸着質 : N<sub>2</sub>、Ar、Kr、CO<sub>2</sub>など

p/p<sub>0</sub>範囲 : 10<sup>-8</sup>～0.999

最小表面積 : 0.01m<sup>2</sup>/g ※分析ガスと温度に依存

最小細孔径 : 0.35nm ※分析ガスと温度に依存

## ■解析事例 比表面積値測定（BET法）



## 細孔径分布測定（BJH法、DFT法）

- 相対圧が10<sup>-8</sup>～0.999の範囲で吸脱着等温線を測定し、BJH法やDFT法で解析することで0.35～500nmの範囲で細孔径分布の測定が可能です。  
<用途>ガスの吸着材、リチウムイオン電池の負極材等

- 相対圧が0.1～0.3の範囲で吸着等温線を測定し、BET法で解析することで比表面積値を測定します。  
<用途>ガスの吸着材、リチウムイオン電池の正極材等